

(表面)

記載例

(あて先) 静岡市教育委員会教育長

児童手当・特例給付 認定請求書

請求者	所属	〇〇小学校				職名	教諭		職員コード	123456		提出年月日	令和〇〇・〇〇・〇		※受付確認年月日	令和 . .	
	①(ふりがな) 氏名	しずおか たろう 静岡 太郎				②性別	男		③生年月日	昭和・平成 50・6・1		④配偶者の有無	有				
	⑤住所	静岡市清水区〇〇町△△番□□号				被用者・・・サラリーマンなどの社会保険被保険者。 被用者等でない者・・・専業主婦やパートなど。 注)ア・イに該当する場合、勤務先に名称を記入				⑥請求者個人番号	1 1 2 2 3 3 4 4 5 5 6 6		⑩配偶者等個人番号	2 2 3 3 4 4 5 5 6 6 7 7			
配偶者等	⑦(ふりがな) 氏名	しずおか はなこ 静岡 花子				⑧職業	ア. 被用者 イ. 公務員 (勤務先:) ウ. 被用者等でない者		⑨住所	同上							
⑪ 児童	氏名及び個人番号	続柄	生年月日	同居・別居の別	海外留学する場合の出国年月	住所	監護の有無	生計関係	※児童との関係で、該当する場合に〇印	※3歳未満の児童 〇印	※3歳以上小学校 修了前の児童 〇印	※小学校修了後 中学校修了前の 児童 〇印	請求者等の個人番号(マイナンバー)を 記入してください。番号確認は、各職員 が責任を持って実施してください。				
	シズオカ ジロウ 静岡 次郎	子	H13・6・1	同・別	年 月	同上	有 無	同一 維持	・未成年後見人 ・父母指定者 ・同居父母								
	3 3 4 4 5 5 6 6 7 7 8 8 シズオカ アオイ 静岡 葵	子	H16・6・1	同・別	年 月	同上	有 無	同一 維持	・未成年後見人 ・父母指定者 ・同居父母								
	4 4 5 5 6 6 7 7 8 8 9 9 フリガナを記入			同・別	年 月		有 無	同 維持	・未成年後見人 ・父母指定者 ・同居父母								
	18歳に達する日以後の最初の3月31日までの 間にある全ての子について、記入してください。			同・別	年 月		有 無	同一 維持	・未成年後見人 ・父母指定者								
⑫ 加入している年金等の 年金手帳、組合員証 又は加入者証の種類	ア. 地方公務員等共済 イ. その他 ()	⑬ 譲渡所得の有無	有 ・ 無		⑭ 扶養親族等及び児童の数 〔うち70歳以上の同一生計配偶者及び 老人扶養親族の合計数〕	3人 0人		認定・ 却下	認定・却下 年月日	支給開始年月	区分	手当月額	円				
		⑮ 所得の状況	令和4年分所得額 4,920,000円		追給・返納の有無	有 ・ 無		追給・返納の期間	月 ~ 月分	追給・返納額	円						

所属確認	個人番号事務取扱担当者	各所属の個人番号(マイナンバー)事務 取扱担当者が内容を確認のうえ、押印 してください。	所得の状況は、源泉徴収票等を参考に記入してくだ さい。また、社会保険料相当額+基礎控除相当額と して、一律18万円を控除し、その他の控除を受けた 場合は、それぞれの額を更に控除した額を記入して ください。(裏面8参照)	扶養親族等及び児童の数は、所得証明 書に記載された令和4年における人数を 記入してください。
------	-------------	--	---	--

◎ 裏面の注意をよく読んでから記入してください。 ※印の()には、()ではつきり書いてください。記入押印に代えて、署名することができます。

(裏面)

注意

- 1 ⑤の欄は、住民票上の住所を記入してください。
- 2 ⑦、⑧、⑨及び⑩の欄は、2人以上で児童を養育（監護し、かつ、生計を同じくするかまたは生計を維持することをいいます。以下同様です。）している場合に記入してください。「配偶者等」とは、児童を養育をする配偶者、未成年後見人等をいいます。なお、配偶者には、児童を懐胎した当時婚姻の届出をしていないが、請求者と事実上婚姻関係と同様の事情にあった者を含みます。
- 3 ⑪の欄は、請求者が養育をする18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある全ての子について、記入してください。
- 4 児童が海外に留学している場合は、⑪の「海外留学してる場合の出国年月」の欄に、いつから留学しているか（出国した年月）を記入してください。
- 5 ⑪の「生計関係」の欄は、次によって記入してください。
 - ア 「同一」は、児童が請求者自身の子である場合や請求者が未成年後見人又は父母指定者である場合で、請求者がその子と生計を同じくしているときに○で囲んでください。
 - イ 「維持」は、児童が請求者自身の子でない場合で、請求者がその子の生計を維持しているときに○で囲んでください。
- 6 ⑫の欄は、請求者の請求の日における公的年金制度の加入状況について、「ア」「イ」のいずれか該当するものを○で囲んでください。「イ」を○で囲んだ場合は、（ ）内にその年金の名称を記入してください。
- 7 ⑬の欄は、市町村民税における控除対象配偶者及び扶養親族の合計数を、また〔 〕内には、このうち老人控除対象配偶者及び老人扶養親族の合計数を記入してください。
なお、請求者の親族ではないが、前年の12月31日に請求者が生計を維持した児童があった場合は、その数を加えた数を記入してください。
いずれもない場合は、「なし」と記入してください。
- 8 ⑭の欄は、請求者の前年（1月から5月までの月分については、前々年をいいます。以下同様です。）の所得についての市町村民税の総所得金額、退職所得金額、山林所得金額、土地等に係る事業所得等の金額、長期譲渡所得金額及び短期譲渡所得金額（譲渡所得に係る特別控除を受けた場合は、その額を控除した額）並びに先物取引に係る雑所得等の金額の合計額から18万円（社会保険料相当額＋基礎控除相当額）を控除した額を記入して下さい。
なお、市町村民税で雑損控除、医療費控除、小規模企業共済等掛金控除、障害者控除、寡婦控除、ひとり親控除又は勤労学生控除を受けた場合は、それぞれの額を更に控除した額を記入して下さい。
- 9 この請求書には、次の書類を添えて提出してください。
 - ア 請求者及びその児童の属する世帯の全員の住民票の写し
 - イ 請求者の前年の所得の額と、その所得に係る市町村民税又は特別区民税における控除対象配偶者及び扶養親族の有無と数についての市町村長の証明書
 - ウ 児童が海外に留学している場合は、当該児童が日本国内に住所を有しなくなった日の前日まで引き続き3年を超えて日本国内に住所を有し、教育を受けることを目的として外国に居住していることを明らかにすることができる書類
 - エ 児童が請求者自身の子であり、請求者がその児童と別居している場合は、請求者のその児童に対する養育の状況を明らかにすることができる書類
 - オ 請求者が未成年後見人である場合は、当該事実を明らかにすることができる書類
 - カ 請求者が父母指定者である場合は、当該事実を明らかにすることができる書類
 - キ 児童が請求者自身の子でない場合は、父母とその児童との養育関係及び請求者とその児童との養育関係を明らかにすることができる書類（請求者が未成年後見人又は父母指定者である場合を除く。）
 - ク 生計を同じくしない配偶者等と別居し、児童と同居している場合は、当該事実を明らかにすることができる書類
 - ケ 「7」の後段に該当する児童があった場合は、その事実を明らかにすることができる書類

備考

1. 必要があるときは、所要の変更又は調整を加えることができる。
2. 受給資格者に周知することにより、注意事項を省略することができる。